

# 学生記者になりませんか？

『HAKUMON Chuo』は中大生が取材・編集する大学広報誌です。  
現在、学部在生を対象に学生記者を募集しています。



- 元新聞記者のプロや先輩の学生記者に、取材方法・原稿の書き方はじめ添削指導を基礎から受けることができます。将来どんなキャリアをめざすにも文章力が重要です！
- 取材を通して、さまざまな人に出会うことができます。出会いの数ほど思い出ができることでしょう。
- 記者活動を通してコミュニケーション能力など「社会人基礎力」を身につけることができます。

## お申し込み・お問い合わせ

中央大学広報室『HAKUMON Chuo』

編集担当：久保田茂信

Phone：042-674-2048(直通)

E-mail：skubota@tamajs.chuo-u.ac.jp

## 編集室

その男子学生は、あれよあれよという間に役員面接まで進んだ。東京・日本橋に本社を置く一部上場企業の入社試験。一緒に受験した同級生は学業成績がよかったのに早々と姿を消した。男子学生は気楽だった。グループディスカッションでは緊張する周囲をよそに勝手に進行役となり、参加者の意見を引き出した。第一志望はほかにあって、この会社は腕試し▼魂胆は役員面接で見破られた。正直に話してホッとしたという。さあ第一志望の入社試験。緊張してガチガチになっていることに気付く。あのリラックスはどこへいったのか。面接では思うように話せない。なんとか入社できたのは、「この仕事したい」「入社したい」と熱い思いをそのまま口にした。ひたむきな情熱がよかったのかな、と男子学生は振り返った▼リラックスしろといわれても正念場でできるものではない。プロスポーツで派手な活躍ができるのは新人・新鋭に多い。野球でいえばプロ初打席が初本塁打で初の満塁本塁打、あるいは初登板で初ノーヒットノーランか。怖さを知らないからだと言われ▼大きなことに挑む時ひたむきさと緊張でアタックしよう。無心でいられるのはいまのうち。ベテランにはない“新鮮力”がパワーになる。怖さを知るのは後からでいい。(編集長 久保田茂信)



2012 秋号 NO.228 2012年(平成24年)10月28日発行

発行 中央大学広報室  
〒192-0393  
東京都八王子市東中野742-1

編集担当 『HAKUMON Chuo』  
☎042-674-2048

### ◎取材協力

校友会、学会、図書館、入学センター、  
サッカー部、水泳部、陸上競技部、  
フェンシング部ほか (順不同)

### ◎学生記者

福田紗友里、石崎春日子、荻原陸、  
宮寺理子、晝間祐亮、熊谷百夏、  
田中佑樹、武内優里子、竹田響、山下緑、  
加藤静香、渡辺紗希 (順不同)

### ◎写真提供 & 協力

中大スポーツ新聞部